

2.子どもを育てる～どんな支援が必要？～



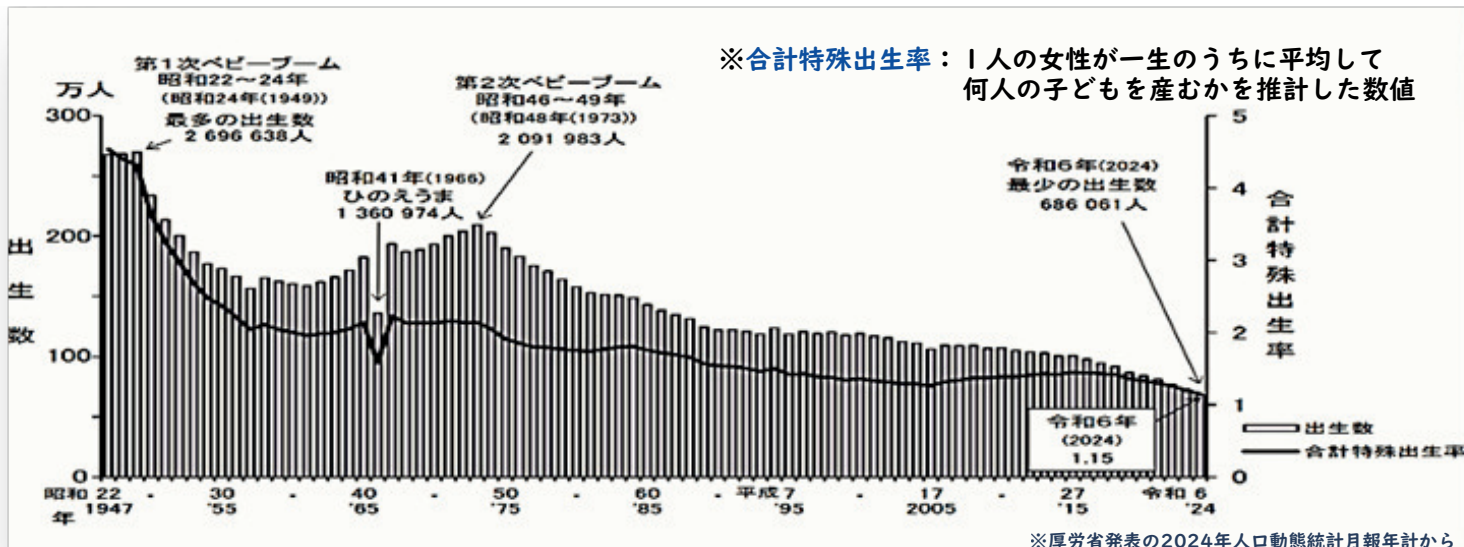
はじめに

「触れ合い体験」で、保護者にインタビューした
「子育てで大変なこと・困っていること」を振り返ろう

- (例) 寝かしつけや食事の準備に時間がかかること。
- 思ったよりも色々な場面でお金が必要なこと。
- 仕事と育児の両立。毎日バタバタで忙しいこと。

どの場面で・どんな理由で大変なのかを具体的に整理させる
ことで次の学習につなげやすくなる。

<出生数及び合計特殊出生率の年次推移>



出生数や合計特殊出生率が減少傾向であるのはなぜだろう？

- (例) 子育てにはお金がかかるから。 仕事と子育ての両立が難しいから。
- 保育園が足りていないから。 結婚する人が減っているから。

生徒が少子化の現状を理解し、出生数や合計特殊出生率の意味を知る。

子育ての困難さや社会的背景と結びつけ、少子化の原因を多角的に考えられるようにする。



子育ての場面ごとに考えよう(※ICT 活用)



子育ての場面	大変なこと (お金・時間・心身の負担等)	社会の支援
出産 	(例) 出産費用がかかる 母親の体への負担が大きい	(例) 出産育児一時金 病院や助産師のサポート 産前産後休業制度
育児生活 	(例) 世話で自分の時間が少なくなる おむつやミルクなどの出費が続く	(例) 児童手当 保育所・認定こども園 育児休業制度
教育 	(例) 学校や習い事にお金がかかる 勉強や進路について悩む	(例) 就学援助制度 奨学金制度
医療 	(例) 病院に行くとお金がかかる 急に病気になることがある 看病で仕事や家事に影響が出る	(例) 子ども医療費助成制度 健康保険 定期健診や予防接種
レジャー行事 	(例) 旅行や行事にお金がかかる 準備に時間や手間がかかる	(例) 地域のイベント 児童館・公園 子育て支援センター



子育ての各場面における負担を、特定の家庭の問題として捉えるのではなく、社会全体で支える必要性があることに気付かせる。



金銭的・時間的・心身的な負担と、それに対応する社会の支援を結び付けて整理し、支援が生活を支える役割を果たしていることを理解させる。



※ICTが使用できない場合の対応策

本時では「どのような子育て支援があるのか」についてグループで話し合いを行い、生徒の知識や経験をもとに整理させる。具体的な支援内容や制度については、宿題として調べ学習を行わせる。

《 振り返り ～子育てがしやすい社会を実現するためにどのような支援が必要だろう～ 》

【評価の観点】

家庭・地域・社会・制度などの視点から、具体的な支援策を整理できているか。
支援の必要性について、自分の意見や気づきが具体的に書けているか。
課題と支援策の関係性が明確か。



3. 夢を叶える第一歩～「働くってどういうこと？」



はじめに

何のために「働く」のだろう？考えてみよう

(例) お金を得るため、人の役に立つため、社会をよりよくするため
自分を成長させるため、自立するため

生徒が「働くこと」の意味を自分事として考えられるようにする。
お金だけでなく、生活・社会・自己成長など多面的な価値を意識させる。



身近な「働いている人」に目を向けてみよう

身のまわりで「働いている人」を一人思い浮かべてみよう。
(例：家族・地域の人・お店の人など)

① 職業名・どんな仕事をしている？

(例) コンビニ店員 ・ レジで接客をしたり、商品の補充をしている

② その仕事は、どのような形で社会に役立っている？

(例) 必要なものをすぐ帰るようにして、生活を支えている

③ どのような思いでその仕事を行っているのだろう？(やりがい・苦労等)

(例) お客さんから「ありがとう」と言われることがやりがい
通勤時間帯は混雑しているので大変

生徒が身近な「働く人」を意識し、仕事の内容・社会への貢献・働く思いに
気づけるようにする。

働くことはお金を得るだけでなく、社会に役立ち、人や地域に貢献する活動で
あることを理解させる。



学びを活かす

【家庭分野】での学びを人々の暮らしを支える仕事として活かす職業の一例
「やりがいを感じる時は？」



※この資料は「参考」として提示

～「食生活」～



心を込めて作った料理を食べたお客様を笑顔にできた時です！

料理人

～「衣生活」～



自分がデザインした服をお店で見たり、お客さんが喜んで着てくれた時です！

ファッションデザイナー

～「住生活」～



設計した建物が、長く使われ、人々の生活を支えているのを見る時です！！

建築士

～「消費・環境」～



困りごとを解決したり消費者の権利を守ることができた時です！

消費生活アドバイザー

～「家族・地域」～



利用者さんや家族の笑顔や「ありがとう」の言葉をもらえた時です！

介護士

《 振り返り① 職業を選ぶ時に大切にしたいことは？ 》

(例) 人の役に立つかどうか・自分の好きなことを活かせるか・自分自身を成長させられるか
将来の生活に必要なお金を得られるか・やりがいがあるか・安定して働けるか

《 振り返り② 興味のある職業とその理由 》

★職業名

(例) 看護師、パティシエ、正社員

★理由

(例)人を助ける仕事でやりがいがありそうだから。
お菓子作りが好きで、喜んでもらえるから。
安定して働けて、社会に貢献できるから。



「職業を選ぶ際に何を大切にしたいか」を考え、自分の価値観と結びつける



興味のある職業とその理由を書くことで、将来の働き方を具体的にイメージさせる



主な仕事内容は？収入資源は？

👉 仕事の具体的な内容を知り、職業を現実的に捉える。

👉 「どのようなことをしている仕事か」を、自分の言葉で簡潔にまとめさせる。

やりがい・大変なことは？

👉 働くことにはやりがいだけでなく、苦労や責任も伴うことを理解する。

👉 魅力と大変さの両方に目を向けることで、仕事の実際をバランスよく捉えさせる。

職業名

👉 ICTの活用が難しい場合は、本活動を宿題として実施し、家庭での調べ学習を行わせる。その際、本時では自分のイメージをもとに記入させ、後の宿題における「職業調べ」へとつなげる。

必要な資格やスキルは？

👉 仕事に就くために必要な準備や学びがあることに気づく。

👉 資格の有無に限らず、知識・技術など幅広い力が必要であることを押さえる。

社会とどうつながっている？

👉 職業が社会や人々の生活を支えていることを理解する。

👉 「誰の役に立っている仕事か」「社会のどのような場面を支えているか」という視点で考えさせる。

向いている人は？

👉 職業と自分の性格や考え方の関係を考える。

👉 能力の優劣ではなく、興味・関心や大切にできることに着目させる。

《 振り返り ～調べたことをもとに、今の自分にできること～ 》

【評価の観点】

調べた職業の内容を踏まえ、働くことと自分とのつながりを考えているか。
仕事に必要な力や考え方をもとに、今の自分にできることを具体的に考えているか。
将来の生活や生き方について、前向きに考えようとしているか。